

真木が45尾

上位11名が決勝進出！！

◇鳥取予選の通過者◇

順位	選手名	所属クラブ	尾数
1	真木 志郎	ライジングサーフ	45
2	小田 博也	キス研大阪	42
3	村山 文雄	周防灘サーフ・ABE組	41
4	佐藤 隆輔	キス研鳥取	40
5	原田 祥太	キス研鳥取	38
6	吉田 大	山サーム磯ノ浦101	38
7	石田 正和	チーム磯ノ浦101	37
8	山崎 元	神奈川投友会	36
9	橋本 尚	キス研鳥取	36
10		草津市	33
		TEAM HIOKI・TEAM大和	33



▲▲ 上位入賞を果たした(前列左から)真木、穴田、小出、村山、佐藤、原田(後列左から)吉田、石田、山崎、山元、橋口の各選手。
 [下]野村競技委員長から予選通過証を手渡される予選1位通過の真木選手(手前左)

▽予選通過人数 基本的に参加者数の上位1割とし、端数は繰り上げ。今回は94人中、上位10位タイまでの11名に決勝大会進出の権利が与えられた。

94人の選手が参加して、盛大に開催された。
 今年の弓ヶ浜海岸はキスの接岸がかなり遅れていて、食いの渋い日が続いている。しかも大会前日はかなり強い向かい風が吹き、波も高くて海藻のホンダワラやゴミが海に漂っていた。下見をしている人に聞いてみると、小型のキスが4〜5尾の釣果だった。

消し飛んだ。
 エリアは美保湾展望駐車場を中心、全長2キロほど。同7時頃から左端から右端まで見て回ると、キスは小型が多くてサイズは13センチ前後。釣れるポイントには3色以内(1色は25センチ)で2色辺りでのヒットが多かった。場所ムラがあり、釣れない場所では数尾の釣果だったが、良いポイントでは30尾前後、最高45尾の釣果があった。印象としてはエリアの左端周辺や、エリア右手にある航空誘導塔の付近が良かった。その場所ではキスが多いせいか、それを狙うフィッシュイーターもいて、60センチ近いマゴチを釣った選手もいた。

今回、鳥取会場からは上位10位タイまでの11人が名譽ある本戦に進出することになった。今年の決勝戦は9月10日に、鳥取予選と同じく弓ヶ浜海岸で開催される。決勝戦では、釣技の向上と発展につながる活躍を期待する。
 (報知APG・野村 道雄)

「第54回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」が21日、鳥取・弓ヶ浜で開幕した。鳥取予選は94人が参加して行われ、競技時間は午前6時から4時間。釣ったキスの尾数で順位を競い、真木志郎選手(ライジングサーフ)が最高釣果の45尾で予選1位通過を決めた。他に42尾を釣った穴田博也選手(キス研大阪)ら上位11名が、決勝大会(9月10日、鳥取・弓ヶ浜)に駒を進めた。27日に徳島・北の脇で、6月4日には愛知・堀切でそれぞれ予選が行われる。

キスは、カレイと並ぶ投げ釣りの2大ターゲットのひとつで、特にキスの引き釣りは非常に人気が高い。今回の予選には地元鳥取のみならず関東や九州からのエントリーもあり、総勢

釣果の心配を抱えながら大会当日を迎えると、幸運にも風は追い風に変わり、海は穏やかで絶好のキス釣り日和となった。午前6時に競技が開始されると、本部門のポイントでは開始早々に3〜5連でキスがヒットし、釣果に対する心配は

海は穏やかで絶好の釣り日和

待ちに待ったキス釣りトーナメントのシーズンが到来した。今年も「報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」は鳥取、徳島、愛知の3会場ですべいが開催される。その先陣を切って21日、鳥取・境港市の弓ヶ浜海岸で鳥取予選が開催された。当初は14日に最初の予選が愛知で開催される予定だったが、10日を超える日に延期した。

海岸にズラリと並ぶ94本の竿。選手たちはそれぞれのポイントでキスを追った



まぶしいくらいの弓ヶ浜月イチ清掃活動に感謝
 白砂に日差しが反射し、まぶしいくらいの弓ヶ浜。ここに来るといつも思うことがある。キレイだなと。それもそのはず。「境港美保ライオンズクラブ」が月イチで海岸の清掃活動を行っているからだ。今年も開催日に合わせて掃除したとのこと。参加選手たちも「気持ちよく釣りができた」と好評だった。その一方で、「釣り場を汚さない」は釣り人の心得のひとつ。もちろんゴミを残さず、美しいま

つり具 釣り下
 日本最大中古釣具チェーン
 @タックルベリー
 総合案内 0120 (52) 0866